



# 先生の推し本 第4回

2022年5月20日  
～8月末頃



## 松島のり子先生

2008年、お茶の水女子大学文教育学部人間社会科学科卒業。2010年、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程修了、2013年、同 博士後期課程修了、博士（社会科学）。

お茶の水女子大学附属幼稚園 非常勤講師、蒲田保育専門学校 非常勤講師、福山市立大学教育学部 講師などを経て、2017年よりお茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 助教。専門分野は、幼児教育学、保育制度・政策。

2017年、著書『「保育」の戦後史：幼稚園・保育所の普及とその地域差』（六花出版、2015）で、一般社団法人日本保育学会保育学文献賞を受賞。

## 原点——そこから、それから。

どれにしようかな...

「推し本」のつもりで選んでいたはずが、自分のお気に入りのタイトルを並べてしまったように思います。本の世界で自分はまだまだ“井の中の蛙”。どちらかというと読書は苦手なこともあり、選定の過程ではかなり迷いました。

そうしたなかで、今回は自分が大学生になってから今に至るまでに手にした印象的な本を挙げてみました。学生時代からふり返ってみると、本にまつわるさまざまな人との出逢いやかかわりを思い出しました。自分の歩んでいる道のりが、多くの人や本によって支えられ導かれてきたことを実感しています。図書館を訪れたみなさんも、それぞれの原点になるような本とめぐり逢えますように。



図書館HPの  
企画展示ページへはこちら

